

富山市で「地震保険セミナー」を開催 ～知り、守る 富山の街～

日本損害保険協会富山損保会(会長：河合 正樹・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 富山支店長)では、12月6日(水)に富山県総合福祉会館で「地震保険セミナー」を開催しました。当日は、損保社員や損保代理店を中心に、約70名が参加しました。

開会に際し、河合会長から、「県民に地震保険をお勧めしていくことは損保業界の使命であり、責務である。富山県における地震保険付帯率は63.5%と全国平均を下回っており、普及促進の機運を高めていきたい」との挨拶がありました。

次いで、地震保険制度を所管している財務省大臣官房信用機構課 久野地震保険計理官兼課長補佐から「政府が支える地震保険制度について、一層の加入促進を図っていきたい」との挨拶がありました。

続いて、富山大学学術研究部都市デザイン学系 安江准教授から「富山の活断層がもたらす災いと恵み」というタイトルで講演いただきました。「アナグリフ写真(赤青の眼鏡を使って画像を立体視するもの)」や「瓦せんべい」を使い、富山の活断層を「見て・感じる」といった工夫に富んだ講演をしていただき、参加者の多くが楽しみながら受講していました。

次に、日本地震再保険株式会社管理・企画部 小布施特命部長から「地震保険の政府再保険について」というタイトルで、制度の強靱性を支える再保険の仕組みについて、分かりやすく説明していただきました。

最後に、富山県代協高木会長から閉会の挨拶があり、本セミナーは盛況裏に閉会しました。

当支部では、引き続き、北陸地域における地震保険の普及促進に係る取組みを進めてまいります。



河合会長の挨拶



財務省 久野計理官の挨拶



富山大学 安江准教授の講演①



富山大学 安江准教授の講演②



日本地震社 小布施特命部長の講演



富山県代協 高木会長の挨拶